



# 東の社協

2022年(令和4年)3月

No. 121

## ふくしだより

TEL 082-263-8443

FAX 082-264-9254

E-mail [higashi@shakyohiroshima-city.or.jp](mailto:higashi@shakyohiroshima-city.or.jp)

社会福祉法人 広島市東区社会福祉協議会

〒732-8510 広島市東区東蟹屋町9-34 東区総合福祉センター4階

詳しくはホームページをご覧ください

<https://shakyo-hiroshima.jp/higashi/>

広島市東区社会福祉協議会

検索



### 戸坂学区社協の取り組み紹介



左から大野事務局長、秋本会長、川瀬地域福祉推進委員

『戸坂ふれあいサロン』と『さくらサロン』を活動拠点に、福祉のまちづくりに取り組まれている戸坂学区社協の秋本 昇会長、大野 裕幸事務局長、川瀬 節子地域福祉推進委員にお話を伺いました。

#### Q 戸坂学区社協で取り組んでいる活動について教えてください。

A 戸坂学区社協では、広報活動として年2回の広報紙発行に加え、学区内の最新情報を迅速に周知すること、戸坂学区社協を構成する各種団体と密なる連携を図るため、「こむねっとひろしま」を活用したホームページを平成23年10月に立ち上げ、常に最新情報の更新を目指しています。

ホームページを立ち上げた当時、地域の方への情報発信方法は回覧板と掲示板に限られていましたが、第三の広報手段としてホームページの運営を始めました。特に重要な個人情報の扱いでは、「戸坂学区社協ホームページ管理規約」を作成し運営を行っています。

現在、戸坂学区の行事や区役所等行政からの情報、戸坂学区社協を構成する各種団体の活動内容や報告を随時更新しています。広報紙等の紙媒体でないと情報が得られない方もおられますが、ホームページでは各種団体からの情報提供があり次第、掲載するようにしているため最新情報を確認することができます。

ホームページを立ち上げてから10年が経過しましたが、この1年間では1日平均約100件以上、延べ17万6700件(令和3年12月末日時点)のアクセスがありました。

ホームページの強みと情報発信の大切さを感じています。これからも戸坂学区の皆さまに、学区内の活動や最新情報を提供していきたいと考えています。



戸坂学区社協のホームページはこちら



## Q 今後、力を入れていきたい取り組みを教えてください。

**A** 戸坂学区社協では、地域の保育園や障がい者作業所、地域包括支援センター等の専門職と一緒に、地域の高齢者や障がい者、子ども等誰もが交流できる心休まる温かな居場所づくりとして「さくらサロン」を実施しています。原則、毎週火曜日に行事などを行っていますが、その活動に加え第4火曜日は認知症支えあいカフェとして「さくらカフェ」を運営しています。この「さくらカフェ」では、認知症の方やその家族の方のみならず、参加者の誰もがリラックスできる場の提供を目指しています。「さくらカフェ」は、令和3年11月に5周年を迎えました。現在、コロナ禍ということもあり、内容は状況に合わせてながら、感染症対策をしっかりと行い活動しています。地域の皆さまが気軽に集えるサロンとしてこれからも取り組んでいきたいと考えています。

### 戸坂学区社会福祉協議会



さくらカフェの様子

活動拠点	場所	開設日	電話
戸坂ふれあいサロン	戸坂地域包括支援センター裏 (東区戸坂中町2-29)	毎週月～金曜 10:00～12:00	082-229-2922
さくらサロン	桜上町交差点角 市営住宅空き店舗 (東区戸坂桜西町8-4-101)	毎週月～金曜 10:00～15:00	082-229-0212

### 連載企画

## 生活支援コーディネーターの想い

生活支援コーディネーターの役割  
「新しいチャレンジを応援する。」

### 6

### 「コロナ禍でもつながり続ける ～スマホやタブレットを通じたコミュニケーション～」

地区社協やサロンなど、地域活動団体による「スマホ教室」や「IT教室」の取り組みが増えています。近年、YouTubeやLINEなどの手軽な通信サービスや、ネット販売・宅配サービスなど、便利なサービスが増えています。スマホやタブレットを上手に使いこなせれば、生活はとても便利で充実したものになります。YouTubeを観ながら自宅で体操をしたり、ビデオ通話で遠方の子どもや孫の顔を見ながら話をしたり…いろいろな活用の仕方があります。活用方法はきっとこれからも増えていくと思います。

しかし、新たにスマホやタブレットを持った人にとって、その操作はなかなか難しいものです。「基礎の基礎から教えて欲しい」、「自分に合ったペースで学びたい」といった地域からの声をうけ、地域住民が講師になり、一緒に学べるスマホ教室の開催が増えています。また、地域の身近な場所で開催されるということも大きな魅力の一つなのだと思います。

私たち生活支援コーディネーターもこのような地域の取組を応援します。地域でのスマホ・タブレット教室開催についての情報や活用方法など、是非ご相談ください。



戸坂南IT教室  
慣れるには、実践あるのみ!



尾長スマホ教室  
YouTubeでも使い方を学べます。



## 牛田新町地区社協の活動拠点が新しくなりました。

牛田新町地区社協の活動拠点が、これまでの牛田新町集会所の1階から2階に移転しました。移転後は、地域のにぎわいづくりにつながる活動の話し合いや、地域の方との交流や相談ができる場所として活用できるように整備を行いました。

### 牛田新町地区社会福祉協議会

**場所** 牛田新町集会所2階  
**電話** 082-221-7735  
**開設日** 月・水・金 9:00～12:00



新しい拠点で、お待ちしております

## 地区社協オンライン情報交換会を開始しました!!

未だに終息の糸口が見えない新型コロナウイルス感染症ですが、昨年度は感染拡大防止の観点から、多くの事業を中止せざるを得ませんでした。区社協として今年度は、どのような方法なら事業を実施できるかという視点で検討を行い、タブレット端末を活用した『地区社協オンライン情報交換会』を開始しました。初回は区社協職員を含め、参加者の多くがオンライン会議の経験が少なかったため、不安もありましたが、皆さんの積極的な参加もあり、とても充実した情報交換会となりました。この取り組みはコロナ禍でもできる地域活動の活性化と連携強化を図るため、月1回の頻度で開催を継続しています。



「みなさん、元気でしたか～?」

# ボランティアの広場

## ボランティアグループ紹介!

### 点訳サークル スターシックス

私たちは視覚障がい者の方へ広報紙などを点訳し、情報をお伝える活動を20年以上行っています。

点字は6個の点を使って五十音・数字・英字などを表します。作成にはさまざまなルールがありますが、最初の五十音を覚えれば応用を効かせて文章を打つことができます。日常生活のいろんな

所に表示されており、視覚障がい者にとっては大切な情報源です。

昨今、スマートフォンなどから音声で情報収集をする方が増え、点字を読めない方が増えている状況ですが、講師の方から「点字を必要としている人は、必ずいる」という言葉を励みに取り組んでいます。

スターシックスでは、読み手の気持ちになって、文章や文字の使い方を会員相互で切磋琢磨しながら学んでいます。また、小学校を中心に点字体験学習を通じて福祉に対する理解を深める啓発活動も行っています。点字の楽しさは実際に点字を打って見ないと分かりませんので、一度体験をされてみませんか。ぜひご参加をお待ちしています！ お問い合わせは東区社協まで。



点字の楽しさ、お伝えします

**活動日** 定例会(毎月第2、4火曜日13:30~15:30) **活動場所** 東区総合福祉センター

## 報告 東区社協 障がい理解の啓発月間

障害者週間(毎年12月3日から9日まで)が設けられている12月を「東区社協 障がい理解の啓発月間」とし、障がいに関する理解の啓発及び活動参加の促進を目的に展示コーナーを設置しました。

コーナーでは、障がいの学びにつながるものとして、障がいに関するマーク、東区障害児者グループ連絡会に属する団体の活動紹介、障がいに関する本会の事業紹介パネルなどを展示しました。

障がいに関するマークについては、身近に見かける機会もあるため皆さんの関心も高く、解説資料を多くの方にお持ち帰りいただきました。

東区障害児者グループ連絡会に属する団体の活動紹介では、「障がいを抱えている他の人も、頑張っているんだと励みになった」という感想もいただきました。自主グループへの加入、障害児親子教室への参加希望など当事者や家族の方から相談をいただくなど、活動参加の促進につながったと感じています。

地域共生社会の実現へ向け、引き続き理解の啓発及び活動参加の促進につながるような取り組みを行っていききたいと思います。



ステキな活動がいっぱい!

コーナーの様子



障がい理解の啓発に取り組んでいます!



## 東区障害児親子教室 「ちやいちやいくらぶ」春休み教室

- 内容** アコーディオン&オカリナ奏者 野口美紀さんによる演奏、ビンゴゲーム
- 日時** 3月26日(土)10:00~12:00
- 場所** 東区総合福祉センター 3階 大会議室
- 対象** 区内在住で18歳以下の障がいのある子どもとその家族(原則親子で参加・きょうだいの参加大歓迎)
- 参加費** 無料
- 定員** 30名程度(先着順)
- 申込期間** 3月1日(火)~7日(金)
- 共催** 広島市手をつなぐ育成会東区支部 東区しょうがい者父母の会 広島市東区社会福祉協議会

\*新型コロナウイルス感染拡大防止対策に努めて実施しますが、今後の感染状況によっては、中止となる可能性があります。詳しい状況はホームページをご確認ください。

## 令和3年度 東区ちやいちやいまつりの開催見送りについて

東区ちやいちやいまつりは、実行委員会にて協議の結果、新型コロナウイルス感染症予防及び参加者、関係者の皆様の健康と安全を最優先に考え、今年度の開催についても見送ることと致しました。開催を楽しみにしていただいた皆様には、たいへん残念なお知らせとなりますが、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。次年度こそ、開催できるような状況に落ち着いていることを願っております。

# 令和4年4月1日に東区社会福祉協議会は 他の区社協とともに広島市社会福祉協議会と 法人合併します。

東区社協は昭和43年に法人認可された安芸町社協を母体に、旧広島市域の東区内地区社協を一つの組織として、昭和55年6月に『社会福祉法人広島市東区社会福祉協議会』として設立されました。設立以降、地域のみならず、[福祉のまちづくり]の実現をめざして活動してまいりました。

地域共生社会の実現に向けて、社協は、地域福祉活動の推進のための支援強化など、地域に根差した事業へのさらなる注力が必要となっています。そのため、市域の法人区社協を広島市社協に一本化し、法人運営関係業務を集約することで事務負担の軽減を図り、より一層地域に根差した事業に注力できる組織形態を目指します。

東区社協は法人格がなくなる以外、名称や事務局体制、地域との関係性など、これまでと変わらず存続いたします。合併後もこれまでどおり『広島市東区社会福祉協議会』として、さらなる地域福祉の推進に努めてまいります。



## 賛助会員を募集しています!

東区社会福祉協議会では、皆さまからいただいた会費を財源に、地区社協活動への助成、ひとり親世帯や障がい児者、介護者等の当事者間交流支援など、誰もが住みよい東区の実現に向けた地域の取り組みを支援しています。

地域の福祉活動を継続するための安定した財源確保に向け、引き続き賛助会員を募集しておりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

**令和3年度の賛助会費総額437,000円(令和4年1月末現在)**

個人会員	団体会員	団体会員(病院など)	郵便振替口座	01380-6-77585
一口 1,000 円	一口 3,000 円	一口 10,000 円	社会福祉法人	広島市東区社会福祉協議会

※何口でもご加入いただけます。

## 賛助会員ご入会ありがとうございます。

### 個人

〈馬木地区〉 三木 徹眞  
 〈温品学区〉 中塚 昭子  
 〈戸坂学区〉 村田 耕治

〈牛田学区〉 安達 吉郎  
 〈尾長地区〉 内木 恵子 米田 弘 匿名1名  
 〈その他〉 藺田 勝敏 藺田 淳子

### 団体(法人等)

おちあい循環器内科クリニック  
 匿名1団体

令和3年11月11日~令和4年1月末現在(敬称略・順不同)

## 寄付は 地域を支える 第一歩

皆様からの温かいご支援が福祉の向上への大きな力になります。寄付はそのひとつの方法です。

このような  
ときに

- フリーマーケット・チャリティーバザーなどの収益金
- 香典返しに代えて

いただいたご寄付は、下記の事業に使わせていただきます。

主な寄付金の  
用途

- 地区社協活動の助成
- ボランティア講座の開催
- ひとり親世帯や障がい児者支援 等

寄付の  
お申し込み  
お問い合わせ先

広島市東区社会福祉協議会  
 〒732-8510 広島市東区東蟹屋町9-34  
 TEL(082)263-8443 FAX(082)264-9254

## 赤い羽根 共同募金のお礼

今年度も「じぶんの町をよくするしくみ」を全国統一スローガンに実施しました赤い羽根共同募金では、地域の皆さまにご協力をいただきありがとうございました。

皆さまからお寄せいただきました募金は、地域福祉活動や高齢者・障がい者・子育て支援等に役立てられます。

また、大規模な災害が起こった際に災害ボランティア活動の支援など、被災地を応援するためにも使われております。

令和3年度 共同募金実績額(東区)

**6,387,126円**  
 (令和4年1月末日現在)